

令和6年度 本庄市 施政方針



「**誠心誠意**」取り組み
信頼される市政運営に
〜支えあいとチャレンジ〜

本年も、本庄市総合振興計画基本構想に掲げる市の将来像「あなたと活かす みんなで育む歴史と教育のまち 本庄」の実現に向けて、後期基本計画に基づく施策を皆さまと協働しながら推進し、「支えあいとチャレンジ」の精神をもって、市政の更なる発展に取り組みます。

依然として先行きが不透明で将来の予測が困難な時代ではありますが、一つひとつの問題に対して誠実に向き合い、なすべきことを着実に進めてまいります。

行政経営に関する基本的考え方

人口減少と超高齢化の時代に適応できるように、デジタル化による市民サービスの利便性の向上や業務の効率化、少子化対策や「こ

もまんなか社会」の実現、まちなか再生とともに住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、持続可能なまちづくりを進めます。

本年、施策を進めるうえで掲げる言葉は、誠実、誠心誠意の「誠」です。今を客観的に見つめ、相手のことを思いやりながら実直に、まごころを込めた市民サービスを進めます。また、時代を先読みして変化を受け入れながら、歩を進めてまいります。

今後も、複雑化、多様化するニーズに対して限られた行政資源を効果的に活用するとともに、事業者の皆さま、市民の皆さまそれぞれにまちづくりの主体として、それぞれの強みを活かしていただきながら、持続可能な地域づくり、信頼される市政運営に誠心誠意努めてまいります。

予算編成の基本的考え方

本市の財政は、歳入では、根幹である市税や地方交付税の大きな伸びは見込めない一方で、歳出は、社会保障関連経費の増加のほか、情報システムの標準化や公園の整備、学校施設の大規模改修などにかかる経費の大きな増加を見込んでおります。

持続可能な財政運営のため、予算編成では、実施事業の歳出抑制を図るとともに、負担の平準化を踏まえた基金の活用や、償還額とのバランスを考慮した市債の発行により、将来の負担が過大とならないよう努めたところです。

令和6年度は、後期基本計画に基づく優先的・重点的に取り組む

重点施策として、「まるごと子育て支援」、「みんなのためのデジタル化」、「安全安心なまちづくり」、「にぎわいと魅力あふれるまちづくり」の4つを掲げ、積極的に施策を実施してまいります。

吉田信解
本庄市長

令和6年度 本庄市 予算

予算総額 **556億754万円**
(前年度と比べ、**27億4,379万円増**)

会計別予算

区分	予算額	増減率
一般会計	319億5,400万円	5.1%
特別会計		
国民健康保険特別会計	81億305万円	1.5%
介護保険特別会計	65億6,668万円	△0.6%
後期高齢者医療特別会計	11億4,291万円	7.4%
特別会計計	158億1,264万円	1.0%
公営企業会計		
水道事業会計	29億5,170万円	10.6%
下水道事業会計	48億8,920万円	17.8%
公営企業会計計	78億4,090万円	15.0%
合計	556億754万円	5.2%

※公営企業会計（水道事業会計・下水道事業会計）の予算額は、収益的支出額及び資本的支出額の合計額を記載しています。

市民1人当たり*が負担する市税 14万4,722円

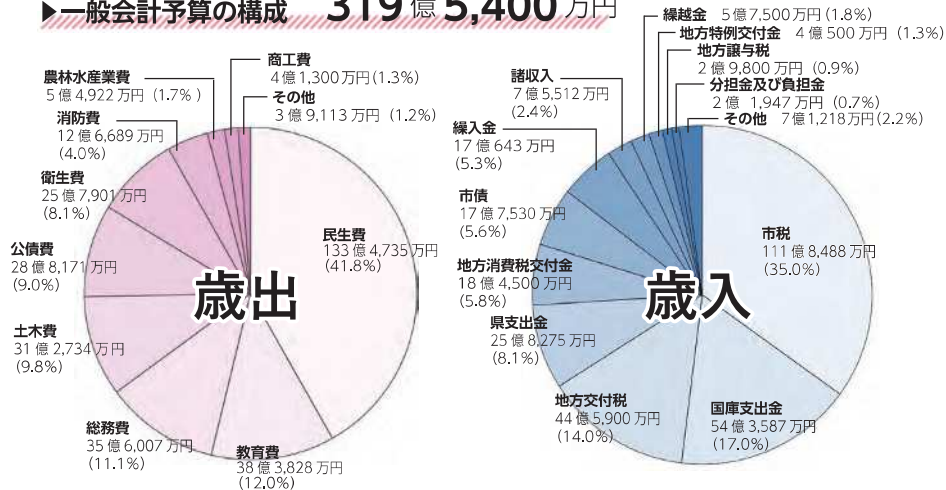
固定資産税	6万6,698円	市たばこ税	7,589円
市民税	5万7,926円	軽自動車税	3,451円
都市計画税	9,058円		

市民1人当たり*に使われるお金 41万3,457円

民生費	17万2,703円	衛生費	3万3,370円
教育費	4万9,664円	消防費	1万6,393円
総務費	4万6,064円	農林水産業費	7,106円
土木費	4万465円	商工費	5,344円
公債費	3万7,287円	その他	5,061円

※令和6年1月1日現在の人口（77,285人）で計算。

▶一般会計予算の構成 319億5,400万円



※構成比は小数点以下第二位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。